

2020年度春季大会(中央大学多摩キャンパス)の記録

大会準備委員長
中央大学 高橋豊治

2020年度春季全国大会は2020年5月23日(土)・24日(日)に中央大学(多摩キャンパス)において開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の感染拡大により、当該日時・当該会場における通常通りの開催を断念した大会でした。

当初は、共通論題として「LIBOR 後継問題」を取り上げ、特別講演を「中央銀行生活を振り返って:実務と学問」白川方明氏(青山学院大学)として、歴史、中央銀行の2つのパネルと10の自由論題セッション(28報告)のプログラムにて開催を予定していました。通常開催で準備を始めたものの、感染症拡大に伴い、懇親会の中止など感染防止策をとった開催をぎりぎりまで模索しましたが、開催校での行動規定の改定(入構禁止措置)などに伴い、地主敏樹会長、鎮目雅人大会担当常任理事、佐々木百合プログラム委員長とも相談の結果、通常通りの開催を断念し、4月3日付で、4名の連名にて会員各位へその旨を次の通りお知らせしました(日本金融学会ウェブサイトの全国大会のページ <https://www.jsmeweb.org/annual/> にも掲載あり¹)。

2020年度春季全国大会の通常開催断念のお知らせ 日本金融学会会員各位

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、学会執行部は、2020年度春季大会準備委員会・プログラム委員会とともに、大会の開催の可能性について検討を進めて参りました。その結果、次のように決定いたしましたので、お知らせいたします。

- 1: 2020年度春季全国大会は2020年5月23・24日に中央大学(多摩キャンパス)において開催予定でしたが、当該日時・当該会場における通常通りの開催は断念する。
- 2: 春季全国大会のプログラムは既に決定されており、プログラムおよび報告要旨は、金融学会HPの全国大会のページに掲載し続ける。
- 3: 既定の春季全国大会プログラムの内容に関して、延期しての開催、オンライン開催、(特別)部会やコンファレンスなどにおける分散開催、及び秋季大会における報告機会の優先提供など、予定されていた研究報告・討論などを実現するような、様々な可能性を検討していく。
- 4: 上記の検討に関する通知は、今後、学会員宛メールや、プログラム委員会からの通知、及び、学会ホームページなどで、決定次第にお知らせいたします。

以上です。

ご報告やご参加をされる予定の会員のみなさまにおかれましては、多大なご心配・ご迷惑をお掛けすることとなり、大変申し訳ございません。

会員のみなさまにおかれましては、メール及び、大会ホームページでの更新情報をご確認いただけますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。当初予定のプログラムは、(https://jsmeweb.org/JSME2020S_0318.pdf)からご覧いただけます。

日本金融学会
会長 地主 敏樹
常任理事会 大会担当 鎮目 雅人
2020年度春季大会準備委員会委員長 高橋 豊治
同大会プログラム委員長 佐々木百合

その後も引き続き、既定の春季全国大会プログラムの内容に関して、延期しての開催、オンライン開催、(特別)部会やコンファレンスなどにおける分散開催、及び秋季大会における報告機会の優先提供など、予定されていた研究報告・討論などを実現するような、様々な可能性を検討しまし

¹ 2024年2月14日 11:59am GMT 閲覧。別紙「2020年度春季全国大会の通常開催断念のお知らせ」(会員への郵送版)も参照。

たが、当時の状況を踏まえ、最終的に自由論題報告に関しては、「指定討論者に送られた報告論文の最新稿に対する指定討論者からのコメントを報告者と座長がメールで直接に受け取ることで、自由論題の報告と討論を正式に実施して頂いたものとして取り扱う。」という形での「学会開催」とし、この内容は4月10日付で座長・報告者・指定討論者に対して連絡を行いました²。一部では、有志によるオンラインでの報告・討論を行ったと仄聞しておりますが、学会として正式なオンライン開催には至っていません。

各パネルについては、中央大学大会での開催は中止することとし、それぞれの部会にて今後の方向性を検討いただくこととしました。共通論題と特別講演は、2021年度春季大会(麗澤大学)において実施する方向で開催校のご了承をいただき、登壇者と調整を行う予定でしたが、諸般の事情から実現できませんでした。

その後、白川方明氏の特別講演については、2021年7月10日に中央銀行部会と歴史部会の合同で開催されました。また、共通論題については、佐々木百合プログラム委員長のご尽力により2021年秋季大会(大阪経済大学・オンライン開催)において「LIBOR 廃止問題」として実施することができたことで胸をなでおろしました。中央銀行主導の「新たなリスクフリーレートの導入」ではなく、金融システムの在り方としての「LIBOR 後継問題」を扱いたいと考えていた立場からすると、趣旨を引き継いで金融学会としてふさわしい展開ができたと考えています。

大会のプログラム委員会ならびに準備委員会の委員は以下の方々でした(敬称略)。この場を借りて多大な貢献にあらためて感謝いたします。

プログラム委員会

井尻裕之(岡山商科大学), 岡野衛士(名古屋市立大学), 長田健(埼玉大学), 小野有人(中央大学), 熊本方雄(一橋大学), 佐々木百合(明治学院大学、委員長), 佐藤政則(麗澤大学), 鎮目雅人(早稲田大学、大会担当常任理事), 高橋豊治(中央大学), 高屋定美(関西大学), 田中隆之(専修大学), 田中茉莉子(武蔵野大学), 田村晶子(法政大学), 中島真志(麗澤大学), 中田勇人(明星大学), 中村周史(中央大学), 永田邦和(長野県立大学), 花崎正晴(一橋大学), 星野聡志(岡山商科大学), 安田行宏(一橋大学), 吉見太洋(中央大学)

大会準備委員会

奥山英司, 高岡浩一郎, 高橋豊治(準備委員長), 高見澤秀幸, 中村周史, 吉見太洋

² 別紙「2020年度春季全国大会の通常開催断念に伴う自由論題報告の扱い等について」参照